

社団法人未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会  
第70回ワークショップのご案内

テーマ：「超伝導で自然エネルギーを使いこなそう」

今年行われた洞爺湖サミットでは地球温暖化対策が大きな議題となりました。マスコミでも気候変動や環境問題に関する話題が、毎日のように取り上げられています。加えて、昨今の原油高によりエネルギー問題に対する国民の意識も高まっています。そのような中で、太陽光や風力に代表される自然エネルギーの活用は、環境問題に取り組む上で、最も有望な対策の一つです。

一方で、自然エネルギーは発電量の変動が大きい、発電所が地域的に分散している、といったことが大規模普及の妨げになっています。超伝導は低損失の送電、電力貯蔵ができる点で、自然エネルギーの普及に貢献できる重要な技術です。今回のワークショップでは、最新の自然エネルギー活用の研究、特に自然エネルギーを電力システムで有効に使う研究や、超伝導技術を応用した高効率電力送配電システムに関する研究を中心に、第一線でご活躍の先生方に講師をお願いしました。

記

日 時：2008年12月1日(月) 13:00 ~ 17:05  
場 所：全日通霞ヶ関ビル 8階 大会議室 TEL 03-3581-2261  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3  
協 力：エコマテリアル・フォーラム  
協 賛：社団法人 低温工学協会

プログラム

13:00-13:10 開会の挨拶 超伝導科学技術研究会会長 下山 淳一  
13:10-13:55 「再生可能(太陽光)エネルギーをいかに有効に使うか - システム研究の立場から -」  
若尾 真治氏 (早稲田大学)  
13:55-14:40 「風力発電の現状と今後の展開 - 超伝導機器の適用可能性 -」  
平田 泰昌氏 (平田企画)

休憩

15:00-15:45 「世界の直流系統間連携設備と SMES 導入の可能性」  
嶋田 隆一氏 (東京工業大学)  
15:45-16:30 「直流超電導送電システムの開発計画」  
山口作太郎氏 (中部大学)  
16:30-17:00 「世界の高温超電導ケーブルプロジェクト現状」  
佐藤 謙一氏 (住友電気工業(株))  
17:00-17:05 閉会の挨拶 未踏科学技術協会理事長 木村 茂行

参加費		資料代
超伝導科学技術研究会会員	無 料	2,000円
エコマテリアルフォーラム会員	無 料	2,000円
協賛団体	4,000円	2,000円
一 般	5,000円	2,000円
学 生	無 料	2,000円

参加申込はこちらから <http://www.sntt.or.jp/~fsst/20081201.html>

問い合わせ先

社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会  
担当:大貫

Phone: 03-3503-4681 Fax: 03-3597-0535 e-mail: [fsst\\_sntt.or.jp](mailto:fsst_sntt.or.jp) (は@に変えて下さい)